

自治ひろこ

1637号

2023. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 30日 町職連協定期総会 (上郡町役場)
- 30日 青年部定期総会 (兵庫県職員会館)
- 30日 女性部定期総会 (ひょうご女性交流会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

シリーズ「一歩前へ」⑥

「自治体DXにどう取り組むのか」

AIは良い道具ですが
人の代わりはできません。

政府は2021年9月、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進させ「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」をビジョンに掲げ、デジタル庁を設立しました。デジタル庁は各自治体に対してクラウド利用を前提とした業務改革と規制改革により、行政サービスを最適化するとしています。

2021年度は自治体システムの標準化・先行事業等を念頭に期間業務向けプラットフォームとして整備、2022年度以降は公共サービスのメッシュを念頭に既存のインターネットサービスをSaaSとして接続、連携するとしており、2025年度までにガバナメントクラウド上に構築された標準準拠システムへ移行できるよう、自治体基幹システムの統一標準化を進めるとし、今回の標準化の対象は法律で決められた業

務であり、システムが普及している17業務と戸籍、戸籍附票、印鑑登録も加えた20業務となっています。このように政府もデジタル化へと舵を切り、市民に対して聞こえがいいフレーズですが、職員にとってはより高度な技術・知識が必要となることやそもそも人員が不足し、これまでもマイナンバーカードの問題のように、施策に振り回されている現状もあり「デジタ

ル化は人員を減らせる」ではなく、より知識の高い職員が必要となることや、DXにおけるAIもPCと同じ道具の一つであることも理解する必要があります。より良いシステムやより良い道具を活用することは、市民サービスの向上はもとより、私たち組合員が働き続けることのできる職場を作り、そもそも定時に帰るためのものだと思います。自治体は人間力勝負です。



宝塚社協労組の荻田委員長



発言を行う戎副委員長

自治労第97回定期大会が8月28～30日に北海道函館市で開催され、4年ぶりの対面開催となった大会へは、全国から約3400人の代議員・傍聴者が参加し、向こう2年間の運動方針と新執行体制を確立した。

大会初日には新規加盟組合が確認され、兵庫からは宝塚市社会福祉協議会労働組合が紹介された。兵庫からは戎副委員長が「未組織自治体での会計年度の組織化に取り組んできたが、実現できていない。基本単組に組織化の必要性を強く訴えていく必要がある。長時間労働縮減に向けて、安全衛生委員会は有効。より実効性のある取り組み

を」と会計年度の組織化と長時間労働について発言し討論に参加した。大会は3日間の討論を経て、運動方針をはじめとする6つの議案は、電子投票での採決が行われ、すべて賛成多数で可決された。

また、今回の大会では役員改選が行われ、川本淳委員長が退任し、新中央執行委員長に北海道本部出身の石上千博さんが選出され新

自治労定期大会

2年間の方針と新体制を確立

兵庫からは組織化と長時間労働について発言

自治労水週間の取り組みとして8月5日に7単組19人参加のもと、神河町で「神河の自然を守る取り組みツアー」が開催された。

「八重山古典民謡」という伝統芸能の世界に足を踏み入れ、数ヶ月が経過した。自由気ままに弾き歌ってき

神河の自然を守る取り組みツアー 限りある資源の活用など 自然との関わりを学ぶ



工場見学の様子

トル飲料「おいお茶」の製造工程の見学では、地域の水資源(地下水)を活用し飲料を製造していることや、回収したペットボトルは100%リサイクルし、限りある資源を有効活用している取り組みを学んだ。

また、上野英一県議員の関りを通じた組合活動について記念講演を受けた。

再審を開始させよう

冤罪は決して許されない

部落解放同盟兵庫県連合会、部落解放兵庫県民共闘会議は、8月6日に兵庫県

民会館で「狭山事件の再審を求める県民のつどい」を開催した。

集会では、無実を訴え再審を求めたたい続ける石川一雄さん夫婦から寄せられたビデオメッセージを視聴した。記念講演では、狭山弁護団の竹下政行弁護士が再審請求における証拠開

示の経過や様々な証拠に関して丁寧な説明がされた。石川さんの冤罪を晴らすため、早急な再審開始に向けて世論を喚起し、取り組み強化が重要であると集会参加者全体で確認した。

いきたいとも思う▼組合活動は時代に応じて変わっていくが、根幹には先人が築いてきたものを伝えていくという、伝統芸能に通じるものがあると感ずる。途切れさせてはいけない。



多くの参加者がつめかけた

いまいち座

地球沸騰化



吉田ノボ



県本部は10月7日に第74回定期大会を開催する。来年は県本部結成70周年の節目の年。

県本部方針のポイント

尾西書記長に聞く

定期大会に向けて尾西亮太郎書記長に来年度の取り組みポイントを聞いた。

昨年「二歩前へ」を合言葉に運動を構築したが、今回の運動方針の柱は？

今回、8月28〜30日に開催された第97回中央本部定期大会のスピーカーが「声

を力に「二歩前へ」でした。県本部が一足早く「二歩前へ」を柱に取り組みを進めてきましたが、すぐに本部に追いつかれそうなので、今年「二歩前へ」と思いますが、今年も引き続きいろいろな取り組みに対して「二歩前へ」を柱に進めて行きたいと思っています。

次世代に組織と運動を継承するためにも、単組強化が必要と考えるか？

次世代に組織と運動を継承するため、あらためて職場オクルグや学習会、集会等、対面を大切にしたり取り組みが必要だと感じています。ただ必要に応じてウエブも活用し、少しでも多くの組合員との関りを追求する中で、運動の必要性等を広げていきたいと思っています。最後に組合員へと言



総会には親子での参加もあった

公営企業評議会総会・公企集会

現業公企闘争で権利を最大限に生かす

三宅一茂さん(宝塚市職労)を新議長に選出



新議長の三宅一茂さん(右から2人目)

県本部公営企業評議会は9月1〜2日にかけて、新温泉町「ゆめ春来」で第25回総会及び2023公企集会を開催した。

開会で西本斎弘公企評議長は「様々な課題がある中で、とりわけ人員の確保育成については極めて厳しく、技術の継承や災害時の対応が今の人員では対応出来ない状況になっている。職場の処遇改善に向けて10月の現業公企統一闘争第2

次闘争で私たちが持つ権利を最大限生かした取り組みをお願いしたい」とあいさつした。

次に三宅一茂事務局長から活動経過報告、活動方針(案)、県に提出した2023現業・公企統一闘争申入書を提起し、石田富勇事務局長から新四役体制(案)の提案が行われ、全体の拍手で確認し、三宅一茂新議長による団結ガンパロウで総会を終了した。

都市交通評議会総会

公営交通の維持・存続と働く者の雇用と生活を守る

県本部都市公共交通評議会は8月10日に第11回総会を、神戸市教育会館で開催した。

公営交通維持・存続と働く者の雇用と生活を守るの基本方針のもと、2023年度活動経過報告、2024年度運動方針(案)、2024年度役員体制(案)について、奥博之事務局長から報告・提案がされ、全体で承認した。

その後、各単組報告を行い、都市公共交通評議会の課題を共有し、今後の取り組みの強化を図っていくことを確認した。

議長 五百旗頭 英裕
(神戸交通労組)
副議長 宮城 辰人
(伊丹交通労組)
事務局長 奥 博之

幹事 藤野 雄大
(神戸交通労組)
幹事 木田 誠
(伊丹交通労組)



今後の取り組みを全員で確認した

公共民間協総会

交流を大切に団結強化

スト権を確立し賃金改善めざす

自治体外郭団体等の労働組合で構成する公共サービス民間労働協議会は、9

月2日、神戸フルーツパークで第23回定期総会を開催した。

大野議長は「交流を大切に」して団結を強めていこう」とあいさつした。経過報告では、宝塚社協労組荻田委員長が新規結成を報告した。

新年度方針では、物価高騰に賃金改善が追い付いていない現状を確認し、スト権を確立し秋闘と春闘に取り組みことなどを確認した。土曜開催のため総会から親子での参加もあり、恒例となった総会後のレクでは、食事交流と果樹園でどう狩りを楽しんだ。

2021年11月改定版

特別な条例がない限り

見積もり依頼受付中

禁錮刑以上で公務員は自動的に失職

交通事故で執行猶予が付いた場合も同じです。失職となれば日々の収入はなくなり、退職金も受け取れない可能性があります。

じちろうマイカー共済は
起訴前の弁護士費用を支払う特約を
在職者に標準付帯

組合経由の申し込みで 団体割引32.5%*

*掛金体系の変更による職域掛金の廃止に伴い、団体割引率が変更されました。団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

2021年11月更新契約より
(新規契約は2021年10月効力開始契約より)

自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています

こくみん共済 NEWS 5120A141

マイカー共済

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神に基づき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。契約にあたってはパンフレットをご覧ください。